

令和 元 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 山坂福祉会

特別養護老人ホーム	やまさわの里
短期入所生活介護	やまさわの里
デイサービスセンター	やまさわの里
居宅介護支援事業	やまさわの里

## 目 次

1. 施設概要	1
2. 全体	2
(1) 実習生の状況	2
(2) ボランティアの活動状況	2
(3) 年間行事の実施と広報紙発行状況	3
(4) 研修状況	3
(5) 安全・衛生の状況	7
3. 特 養	8
4. 健康管理・安全の状況	10
(1) 施設の入所者医療状況	10
(2) 入所者の死亡の状況	10
(3) 入院の状況	10
(4) 病院受診の状況	11
(5) 疾病の内訳	11
5. 給食の状況	12
(1) 給食の実施状況	12
(2) 栄養所要量の充足状況	12
(3) 季節感のある食事と行事食の状況	13
(4) 選択食実施記録	13
(5) 献立の基本	14
(6) 食事嗜好調査について	14
6. 短期入所（ショートステイ）	15
7. デイサービス	16
8. 居宅介護支援事業	23

## 1. 施設概要

運営主体	社会福祉法人 山坂福祉会
施設の種類・名称	指定介護老人福祉施設 やまさわの里
理事長	野原 哲夫
施設長	押久保 圭子
所在地	栃木県真岡市熊倉町3435-1 TEL 0285-81-1188
法人設立年月日	平成13年6月25日
施設設置許可日	平成14年5月1日
入所定員	50名 短期入所 10名 計 60名
敷地面積	7.107 m <sup>2</sup>
建物の構造・規模	鉄筋コンクリート造 平屋建 2614.52 m <sup>2</sup>
主な設備と建物の内容	全館冷暖房完備 火災報知システム整備 日常動作訓練器 スプリンクラー 排煙装置 特殊浴槽 一般浴槽 医務・看護室 静養室 洗濯室 厨房 リネン室 霊安室 居室（4人部屋8室、2人部屋8室、個室12室）等

## 2. 全 体

### (1) 実習生の状況

月	実 習 内 容	人数	依 頼 先
H31年4 R1年5.7	介護実習Ⅱ（三年）	2	栃木県立真岡北陵高等学校
R1年11	マイ・チャレンジ 社会体験活動	2	真岡市立真岡東中学校
R1年6	介護実習Ⅴ（二年）	1	栃木介護福祉士専門学校
R1年7	介護実習Ⅱ（一年）	1	栃木介護福祉士専門学校
R1年9	介護実習Ⅶ（二年）	1	栃木介護福祉士専門学校
R1年8.9	介護実習Ⅰ（二年）	3	栃木県立真岡北陵高等学校
R1年10	介護等体験	1	宇都宮短期大学 (教員過程履修者)

### (2) ボランティアの活動状況

月 日	グループ名	人数	内容・団体名等
H31年4月5	傾聴ボランティア	3	
R1年5月2	傾聴ボランティア	2	
16	傾聴ボランティア	5	
23	女方玉三郎一座公演	3	
6月7	傾聴ボランティア	5	
15	尊徳太鼓ボランティア	10	
20	傾聴ボランティア	6	
7月5	傾聴ボランティア	6	
18	傾聴ボランティア	7	
20	和太鼓クラブ童楽鼓	27	園児13名引率14名
25	ギター弾き語り	1	
8月2	傾聴ボランティア	5	
23	真岡高校ジャグリング部	6	高校生5名引率1名
9月6	傾聴ボランティア	6	
7	真岡剣志会	2	空手 居合道
19	傾聴ボランティア	5	
10月4	傾聴ボランティア	5	
17	傾聴ボランティア	6	
11月7	磯崎様御一行カラオケボランティア	7	花みずき会 歌・踊り

### (3) 年間行事の実施と広報紙発行状況

月 日	行 事 内 容	広報紙内容
H31.4/上旬	お花見	
5.5	端午の節句・菖蒲湯	5/5 発行 お花見 新入社員 103 歳お祝い
R1.5.13	母の日 バラ園見学	
6.11	父の日	
7.6	七夕会	7/7 発行 バラ園 母の日 父の日 運動会
9.17	敬老会	9/8 発行 七夕 外食ツアー 和太鼓ボランティア
10.10	ミニ秋祭り	
11.15	音楽祭	11/10 発行 敬老会 フラダンス 救命講習
12.25	クリスマス会	
R2.1/初旬	初詣	1/12 発行 新年理事長挨拶 リンゴ狩り クリスマス会
1.10	新年会	
2.2	節分(豆まき)	
3.3	ひな祭り	3/9 発行 初詣 節分 ひな祭り 自由喫茶

### (4) 研修状況

研 修 日	研修内容	参 加 者
H31 年 4 月 12	栃木県老施協主催 新人職員研修	渡邊直美
19	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	尾崎
R1 年 5 月 13	令和 2 年度栃木県老施協総会記念講演「穏やかな最期を迎えるために」	押久保 大塚市村 吉永 平野
13	令和 2 年度栃木県老施協 総会	押久保
14	令和 2 年度「地域における公益的な取組」推進協議会 総会及び特別講演会	尾崎
15	令和 2 年度栃木県社会福祉法人経営者協議会 定期総会及び第 1 回研修会	尾崎
17	294 たがやしネット会議	押久保

研 修 日	研修内容	参 加 者
5月20	令和2年度栃木県介護職員合同入職式	渡邊直美 星野沙也加
21	第8回公益社団法人茨城県栄養士会定時総会・研修会	黒須
22	「いちご一会」5月研修会	上田
28	2019年度芳賀郡市管内介護支援専門員連絡会 総会・研修会	田谷 杉山 上田 谷畑 細島 川又
6月5	とちぎ介護人材育成認証制度 スタートアップセミナー	田中 入江
10	令和元年度相談支援機関職員研修	田谷 上田
12	茨城県栄養士会福祉専門研究会総会・研修会	黒須
13	栃木県県東健康福祉センター協議会	押久保
21	在宅サービス事例発表会	押久保 佐竹
26	真岡北稜高校実習指導者連絡協議会	野沢恵梨
28	294 たがやしネット会議	押久保
28	リスクマネジメントセミナー	佐竹
7月1	経営戦略セミナー	田中
2	令和元年度第1回学校評議員会	押久保
2	栃木県栄養士会福祉協議会研修会	黒須
3	老人福祉施設機能訓練指導員等研修会	加藤
4	福祉送迎運転者講習会	尾崎
6	介護現場の虐待を考える集い	石嶋 大根田
9	令和元年度相談支援機関職員研修	田谷 上田
11	安全運転講習会	野沢浩史
12	2019年度社会福祉施設経営実務セミナー	尾崎
19	古川和稔先生による介護サービス向上 基礎研修	入江 戸丸 立花 小松
23	栃木県看護協会県東地区支部懇談会	渡邊真紀

研 修 日	研修内容	参 加 者
24	OJT 担当研修	大塚
26	令和元年度社会福祉施設中堅職員研修会	本沢 亀倉
29	介護職員等特定処遇改善加算研修会	田中
30	令和元年度相談支援機関職員研修	田谷 上田
30	第1回 294 たがやしネット災害支援ワーク 情報交換会	尾崎
8月5	令和元年度「働き方改革」セミナー	田中
19	居宅介護支援事業者管理者研修会	田谷
24	令和元年度第1回市民公開講座	尾崎
30	294 たがやしネット	押久保
9月2	助成金活用説明会	田中
13	第3回 294 たがやしネット災害支援ワークの 職員派遣について①	尾崎
15	認知症に関する研修会	上田
18	呼吸ケア勉強会	渡邊 小林
20	働き方改革実践セミナー&相談会	田中
30	第4回 294 たがやしネット災害支援ワークの 職員派遣について②	尾崎
10月3	おむつの選択と正しい当て方	上田
5	講演会「認知症でわかったこと、わかってきた こと」	谷畑
8	「いちご一会」10月研修会	田谷
10	芳賀郡市管内介護支援専門員研修会	田谷 杉山 上田 谷畑 細島 川又
16	安全運転管理者講習	田中
17	令和元年度社会福祉施設新任職員研修会	渡邊直美
21	第5回たがやしネット災害支援ワーク	尾崎
24	感染症対策研修	加藤
25	令和元年度外国人介護人材受入に関する 研修会	田中
28	294 たがやしネット	押久保
11月12	令和元年度福祉サービス苦情解決研修会	野沢
13	介護事業所向けセミナー	大橋

研 修 日	研修内容	参 加 者
15	令和元年度北関東・信越ブロック協議会 セミナー	尾崎
19	栃木県老施協 新人職員フォローアップ研修	渡邊直美
20・21	第76回全国老人福祉施設大会 茨城大会	尾崎
29	294 たがやしネット会議	押久保
12月6	社会福祉法人の指導監査対策セミナー	田中
6	令和元年度高齢者権利擁護等推進事業 事例報告会	渡邊 西村
9	社会福祉施設における労務管理・労務防止に 関する説明会	田中
12	社会福祉法人経営者ブロック別研修会	押久保
17	令和元年度後期研修会	黒須
20	令和元年度第2回県東地域医療構想調整会議	田谷
21	最期まで自分らしく生きるために 死から学ぶ「生」	田谷 谷畑
R2.1月8	令和元年度地域共生社会シンポジウム	尾崎
15	令和元年度栃木県老施協特別セミナー	押久保
22	第3回懇話会	上田 谷畑 細島
23	令和元年度栃木県介護認定審査会委員研修	田谷 市村
23	自然災害時の施設のリスクと備えを学ぶ セミナー	尾崎
2月6	令和元年度管内給食施設関係者研修会	黒須
6	「いちご一会」2月研修会	上田 谷畑 細島
20	多職種合同事例検討会	田谷 杉山 上田 谷畑 細島 川又 野沢 岡島
28	これ以降の研修は新型コロナウイルスのため中止 令和元年度1市4町在宅医療・介護連携推進 事業全体研修会	上田 谷畑 細島
3月2	令和元年度第5回社会福祉法人経営者研修会	田中
2	障害福祉に関する研修会	田谷 上田
6	令和元年度栃木県老施協宇都宮・県東ブロック 施設長研修会	押久保
22	施設ケアマネージャー向け研修会	川又



## (5) 安全・衛生の状況

### ① 職員検診（定期健診年1回）実施

胸部 X 線撮影、血液検査、血圧検査、尿検査（糖・蛋白）  
心電図、胃透視、聴力検査、検便（大腸癌）

### ② 夜勤者健康診断（年1回）実施

### ③ 腰痛検査（年2回）実施

### ④ ストレスチェック（年1回）実施

### ⑤ 衛生管理

乾燥機清掃	・・・毎日	車イスの消毒	・・・月1回
寝具のシーツ交換	・・・週1回	車イス清掃	・・・月1回
食器類消毒	・・・毎日3回	食堂流し台清掃	・・・毎日
日光干し	・・・随時	コンテナ清掃	・・・毎日
手洗い	・・・毎日3回	手指消毒液アロクリン EM	
冷蔵庫整理	・・・週2回		

### ⑥ 検便

関係職員 ・・・月1回

### ⑦ 安全関係

車イス、ストレッチャー点検 ・・・月2回  
タイヤの空気圧調整、ブレーキ点検 他

### ⑧ 災害対策実施状況

実施日時	実施時間	実施内容
R1年5月30日	午後3時00分	消火訓練・通報訓練・避難訓練
6月21日	午後3時00分	消火訓練・通報訓練・避難訓練
8月20日	午後2時30分	消防設備自主点検
9月29日	9:00-12:00	普通救命講習会 職員11名受講
10月6日	午前11時00分	地域連携防災訓練(日中地震想定)

### 3. 特 養

#### 入所者の状況

- (1) 定 員 50名
- (2) 現在入所者数 50名 (令和2年3月31日現在)
- (3) 要介護度別入所者数

令和2年3月31日現在 単位：名

介護度	自 立	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
入 所 者 数	0	0	0	(0) 0	(4) 8	(3) 18	(3) 24

◎ 平均要介護度 ( ) 内は男性

男 性・・・ 3.90

女 性・・・ 4.43

平 均・・・ 4.32

- (4) 市町村別入所者数

令和2年3月31日現在 単位：名

真 岡 市	44	芳 賀 町	0
益 子 町	2	市 貝 町	0
上 三 川 町	0	宇 都 宮 市	2
茂 木 町	1	兵 庫 県 播 磨 町	1
		合 計	50

- (5) 入所者年齢構成

令和2年3月31日現在 単位：名

年齢	性別		合 計
	男 性	女 性	
60歳未満	0	0	0
60～64歳	0	0	0
65～69歳	0	0	0
70～74歳	0	0	0
75～79歳	1	2	3
80～84歳	2	5	7
85～89歳	3	10	13
90～94歳	4	14	18
95～99歳	0	7	7
100歳以上	0	2	2
合 計	10	40	50

平均年齢

男 性・・・ 87.5 歳  
 女 性・・・ 90.5 歳  
 平 均・・・ 89.9 歳

(6) 日常生活動作状況 (ADL) 令和2年3月31日現在 単位：名

区 分	自 立	一部介助	全介助	合計
食事介助	19	14	17	50
排泄介助	1	16	33	50
衣類着脱介助	0	12	38	50
入浴介助	0	13	37	50
ポータブルトイレ使用者	2			
車イス使用者	45			
歩行器使用者	0			
シルバーカー使用者	1			
褥瘡患者	0			

(7) 外泊・外出の状況

単位：名

月	外出者数	外泊者数	月	外出者数	外泊者数
4月	0	0	10月	1	0
5月	1	0	11月	1	0
6月	0	0	12月	0	0
7月	0	0	1月	0	0
8月	4	0	2月	0	0
9月	1	0	3月	0	0

(8) 行事

年 月	内 容		
平成31年4月	お花見	自由喫茶	グループ行事
令和元年5月	端午の節句行事 母の日 バラ園散策	自由喫茶	グループ行事
6月	父の日 運動会	自由喫茶	グループ行事
7月	七夕会	自由喫茶	グループ行事
8月		自由喫茶	グループ行事
9月	敬老会	自由喫茶	グループ行事
10月	秋祭り中止 (臨時ミニ秋祭り)	自由喫茶	グループ行事
11月	グループ別紅葉ツアー・音楽祭	自由喫茶	グループ行事
12月	クリスマス会	自由喫茶	グループ行事
令和2年1月	元旦レクリエーション 新年会	自由喫茶	グループ行事
2月	節分祭	自由喫茶	グループ行事
3月	ひな祭り	自由喫茶	グループ行事

## 4. 健康管理・安全の状況

### (1) 施設の入所者医療状況

施設入所者の日常の健康管理については、嘱託医による週2回の回診、週2回の入浴日に合わせて入所者全員の体温、脈拍、血圧測定、月に1回の体重測定を行ない、高血圧の方や、易感染、脱水傾向にある方については、毎日のバイタルチェックを行ないました。

血液検査と結核定期健診（レントゲン検査）と腎機能検査（尿検査）を実施しています。また、インフルエンザの予防接種についても10～11月にかけて行ない、入所者全員と職員がワクチン接種を受けました。

### (2) 入所者の死亡の状況

単位：名

年 日	人 数	場 所	備 考
H31年4月	1	施設	ターミナルケア1名
R1年5月	0		
6月	1	施設	ターミナルケア1名
7月	0		
8月	0		
9月	0		
10月	1	施設	ターミナルケア1名
11月	1	施設	ターミナルケア1名
12月	1	施設	ターミナルケア1名
R2年1月	2	施設・日赤	ターミナルケア1名
2月	0		
3月	1	施設	ターミナルケア1名
合 計	8		

### (3) 入院の状況

単位：名

年 日	人 数	年 日	人 数	年 日	人 数
H31年4月	2	9月	0	2月	0
R1年5月	0	10月	0	3月	0
6月	0	11月	2	合計	11名
7月	2	12月	3	延入院日数	200日
8月	1	R2年1月	1	一人平均	18.2日

(4) 病院受診の状況

単位：名

	内科	外科	整形	眼科	歯科	形成	口腔 外科	皮膚 科	耳鼻 科	泌尿 器科	脳外 科	婦人 科	精神 科	合計
4月	3	0	0	0	21	0	2	0	0	0	0	0	1	27
5月	0	0	1	1	6	1	2	1	0	0	2	0	0	14
6月	0	0	1	0	13	0	0	1	0	0	0	0	1	16
7月	0	0	1	0	14	0	0	0	0	0	0	0	1	16
8月	0	0	0	0	23	0	0	1	0	0	0	0	0	24
9月	0	0	2	0	15	0	0	2	0	0	1	0	1	21
10月	1	0	0	0	10	0	0	4	0	0	0	0	0	15
11月	1	0	0	1	10	2	0	3	0	0	0	0	0	17
12月	1	0	1	0	7	2	0	3	0	0	0	0	0	14
1月	0	0	2	0	12	3	0	0	0	0	0	1	0	18
2月	0	0	0	0	18	3	0	0	0	0	0	0	1	22
3月	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	11
合計	6	0	8	2	159	11	4	15	0	0	3	1	6	215

(5) 疾病の内訳

一人の疾病平均 4.12 内服 43名/50名 86%

令和2年3月31日現在 単位：名

疾患名	疾 病 数	疾患名	疾 病 数
脳血管障害	13	高脂血症	5
高血圧	20	パーキンソン症候群	2
心疾患	3	脱肛	1
糖尿病	5	気管支喘息	1
骨粗鬆症	4	上肢骨折後	3
腰椎圧迫骨折後	2	大腿骨折後	10
慢性関節リウマチ	1	変形性膝関節症	5
変形性腰椎症	2	変形性脊椎症	1
高コレステロール血症	1	前立腺肥大	2
てんかん発作	2	前立腺がん	1
不眠症	2	腹部大動脈瘤	1
逆流性食道炎	2	アルツハイマー性認知症	32
統合失調症	1	脳血管性認知症	2
膀胱がん術后	1	白血病	2
胃癌術后	1		

## 5. 給食の状況

入所の健康を維持し、毎日潤いのある生活を送るためにはバランスのとれた食事がとても重要になってきます。毎日何をどれだけ食べたらよいかを入所者の年齢・性別を基に目標栄養量を算定しました。

また「高齢者に喜ばれる食事」を第一に考え、嗜好調査を実施することで個々の嗜好を把握し、献立の参考としました。それ以外にも、食生活が単調にならないよう行事食や旬の食材なども積極的に取り入れています。

### (1) 給食の実施状況

令和2年3月31日現在

主食	副食	入所者	短期入所者	デイサービス利用者	合計
米飯	常食	17	5	19	41
	刻み	6	1	4	11
	超刻み	5	1	0	6
全粥	常食	0	0	3	3
	刻み	3	1	2	6
	超刻み	4	0	1	5
	ミキサー	0	0	0	0
米飯 1/2	刻み	3	0	0	3
全粥 1/2	超刻み	5	0	0	5
全粥ミキサー	超刻み	1	0	0	1
	ミキサー	2	0	0	2
パリックセリ	刻み	1	0	0	1
	超刻み	2	0	0	2
	ミキサー	1	0	0	1
合計		50	8	29	87

### (2) 栄養所要量の充足状況

		栄養所要量	1日平均栄養摂取量	充足率(%)
熱量	kcal	1650	1626	99
蛋白質	g	60	60.3	101
脂肪	g	36	68.1	106
カルシウム	g	650	725	114
鉄	g	7	6.6	94
ビタミン	A $\mu$ g	730	742	102
	B1 mg	1.1	1.5	136
	B2 mg	1.2	1.2	100
	C mg	100	93	93

(3) 季節感のある食事と行事食の状況

年 月	実 施 内 容	
H 31 ・ R 1 年	4月	ちらし寿司・華茶巾・抹茶ゼリー・味噌汁
	5月	端午の節句（竹の子ご飯・天ぷら）・母の日（ちらし寿司）
	6月	紫陽花ご膳（ケチャップライス・海老ピラフ）運動会（お赤飯・鶏のから揚げ）父の日（カツ丼）
	7月	七夕御前（ちらし寿司・天ぷら）
	9月	十五夜（芋団子）敬老会（お赤飯・秋の天ぷら）
	11月	芋煮会（デイ：ばち汁風）音楽会（栗ご飯、鶏肉のごまみそ焼き）
	12月	冬至（南瓜のそばろあんかけ）クリスマス会（握り寿司、巻き寿司）・年越しそば（海老の天ぷら）
R 2 年	1月	お正月（おせち料理）
	2月	節分（お赤飯・しもつかれ・鶏のから揚げ）バレンタインデー（チキンライス）
	3月	おひな祭り（ちらし寿司）ホワイトデー（ピラフ・ロールキャベツ）

(4) 選択食実施記録

実施日	選択食 A	選択食 B
H31年 4月 30日	五目ちらし	鶏肉の三色丼
R1年 5月 23日	春野菜の中華丼	かき揚げ丼
6月 20日	白身魚のフライ丼	ロコモコ丼
7月 23日	親子丼	冷やし中華
8月 23日	炭火焼き鶏丼	ネバトロそば
9月 18日	豚カツ丼	海老カツ丼
10月 29日	三色丼	鮭の三色丼
11月 20日	えびす丼	白身フライの卵とじ丼
12月 21日	親子煮	天ぷら
R2年 1月 23日	クリームシチュー	ビーフシチュー
2月 21日	炭火焼き鶏丼	ラーメン
3月 19日	あんかけチャーハン	カレーうどん

秋の手作りおやつセレクト

	A	B
R1年 10月 31日	南瓜プリン	南瓜ケーキ
11月 6日	さつま芋のようかん	スイートポテト
11月 16日	煮りんご	イモンブラン

## (5) 献立の基本

### ① 栄養のバランス

- 1) 医師からの食事箋に基づき、必要に応じて糖尿病・減塩食などに  
対応した食事を提供しました。
- 2) 入所者の食欲をなくさない程度の減塩
- 3) カルシウムを十分に摂取する  
(毎日1回牛乳を提供・牛乳を使用したおやつを提供)
- 4) カリウムを十分に摂取し、ナトリウムを排泄  
(野菜や果物から摂取)

### ② 食べやすさ

刻み・超刻み・ミキサー食など個々に適した状態で提供しました。  
ミキサー食が困難な方には、ゼリー状の固形栄養食品を提供しました。

### ③ 入所者の嗜好に合った献立

- 1) 高齢者になじみやすい食材を使用
- 2) 旬のものを取り入れる
- 3) 水分摂取時に入所者の嗜好に合った飲物を提供 (お茶・牛乳・リンゴジュース・コーヒー牛乳等)

## (6) 食事嗜好調査について

### ① 目的

入所者の嗜好を把握し、毎日の食事が楽しく且つ健康の保持につながることを目的とする。

### ② 実施日

R1年6月

### ③ 実施方法

給食委員会がアンケート用紙を作成し介護職員が聞き取りし用紙に記入

### ④ 対象者

特養入所者・ショートステイ利用者・デイサービス利用者

利用者の中には、自分の食べたい物をはっきりと意思表示できない方も少なくありません。栄養士は介護職員や看護師等関係スタッフと連絡を取り、常に個人の嗜好を把握するよう心掛けております。

全ての利用者の嗜好に応えられる献立が一番の理想であり、入所者全てが家族と考えるならば、たとえ一人の人の希望であっても、その人の嗜好を尊重できるよう配慮し実施に努めております。



## 6. 短期入所（ショートステイ）

利用状況

令和2年3月31日現在 単位：名

月	利用者数		月	利用者数	
4月	実人数	23	10月	実人数	25
	延人数	236		延人数	226
5月	実人数	22	11月	実人数	23
	延人数	301		延人数	230
6月	実人数	23	12月	実人数	22
	延人数	279		延人数	252
7月	実人数	24	1月	実人数	25
	延人数	279		延人数	253
8月	実人数	20	2月	実人数	24
	延人数	279		延人数	253
9月	実人数	22	3月	実人数	25
	延人数	267		延人数	250

## 7. デイサービス

### (1) 月間利用状況

令和2年3月31日現在 単位：名

月	新規利用者数	月末登録者数	利用者延人数	延利用者入浴数
4	5	69	696	659
5	2	71	709	676
6	3	70	685	664
7	5	68	751	704
8	5	73	737	684
9	4	72	718	653
10	2	73	772	702
11	2	71	743	669
12	4	75	710	657
1	1	72	732	712
2	2	73	690	654
3	1	74	683	656
合計	36	861	8626	8090

### (2) 利用者年齢構成

令和2年3月31日現在 単位：名

年齢	性別	男性	女性	合計
60歳未満		0	0	0
60～64歳		0	0	0
65～69歳		0	2	2
70～74歳		1	1	2
75～79歳		4	7	11
80～84歳		7	9	16
85～89歳		6	11	17
90～94歳		5	9	14
95～99歳		4	6	10
100歳以上		0	1	1
合計		27	46	73

### (3) 利用者移動・歩行状況

	男性	女性	合計
歩行	9	9	18
ストレッチャー	0	0	0
リクライニング	0	0	0
車イス	7	11	18
器具・杖・シルバーカー使用	11	26	37
合計	27	46	73

## (4) 利用者日常生活動作状況 (ADL) 令和2年3月31日現在 単位：名

		男 性	女 性	合 計	備 考	
日 常 生 活 動 作	移 動	自 立	12	27	39	
		一部介助	13	13	26	
		全面介助	2	6	8	
	食 事	自 立	26	41	67	
		一部介助	1	4	5	
		全面介助	0	1	1	
	入 浴	自 立	0	0	0	入浴提供ナシ 1名
		一部介助	21	40	61	
		全面介助	6	6	12	
	排 泄	自 立	11	29	40	
		一部介助	7	10	17	
		全面介助	9	7	16	
着 脱	自 立	6	25	34	入浴提供ナシ 1名	
	一部介助	14	11	25		
	全面介助	6	10	16		

## (5) 薬草風呂 等

使 用 月	薬 草 名	効 能
4月～3月 (毎月1度 月～土の6日 間)	入浴剤 森・柚子・ラベンダー	精神的なリラックスをは かる。

## (6) 行 事

年 月	内 容
平成31年4月	お花見 (真岡市内)
令和元年5月	端午の節句 母の日
6月	父の日 運動会 ティータイムツアー (カフェゲン)
7月	七夕まつり 買い物ツアー
8月	かき氷祭 外食ツアー (はま寿司・すぎのや・ 爆弾ハンバーグ)
9月	敬老会
10月	秋祭り (中止)
11月	リンゴ狩り(菊池りんご園) 音楽祭 ビンゴ大会 自由喫茶 (ホットケーキ)
12月	クリスマス会 自由喫茶 (ホットケーキ)
令和2年1月	初詣 (大前) 新年会 自由喫茶 (ホットケーキ)
2月	節分祭 自由喫茶 (ホットケーキ)
3月	ひな祭り 自由喫茶 (ホットケーキ)

(7) レクリエーション状況

レクリエーションは月間予定表を作成し、毎日内容を変化させ実施しました。

レクリエーション援助は、生活相談員を中心にレク委員会を開催し、新しいレク財を導入しました。その日の担当職員（レクリエーションリーダー）が、利用者の皆様と共に楽しみを味わい満足が得られるように支援しました。

午前中は手指の機能訓練となる製作を中心とした知脳リハビリ（ぬり絵・漢字・計算等）や健口体操（早口言葉等）を行い、午後はストレッチ体操を始めとする身体リハビリ体操や全員で楽しめるゲーム等を行いました。また、帰る前に合唱やカラオケの時間も取り入れました。

令和2年3月31日現在 単位：名

月	参加者総数	指 導 者	時 間	内 容
4	696	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 小堀 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00        14:00～ 15:00	ぬり絵(5月カレンダー) 製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 うめ干しの歌 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉丘を越えて  〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
5	709	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 小堀 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉	9:30～ 11:00        14:00～ 15:00	ぬり絵(6月カレンダー) 製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉茶摘み  〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱

月	参加者総数	指 導 者	時 間	内 容
		上野 日下田		その他
6	685	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 小堀 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00  14:00～ 15:00	ぬり絵(7月カレンダー) 製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉夏は来ぬ 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
7	751	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00  14:00～ 15:00	ぬり絵(8月カレンダー) 製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉われは海の子 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
8	737	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山	9:30～ 11:00	ぬり絵(9月カレンダー) 製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉東京音頭

月	参加者総数	指 導 者	時 間	内 容
		加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	14:00～ 15:00	〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
9	718	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00  14:00～ 15:00	ぬり絵(10月カレンダー) 製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉もみじ 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
10	772	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00  14:00～ 15:00	ぬり絵(11月カレンダー) 製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉ソーラン節 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
11	743	看護師 佐竹	9:30～	ぬり絵(12月カレンダー)

月	参加者総数	指 導 者	時 間	内 容
		加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	11:00      14:00～ 15:00	製作個別 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉東京音頭 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
1 2	7 1 0	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00     14:00～ 15:00	ぬり絵 (1月カレンダー) 製作個別・年賀状 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉冬景色 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
1	7 3 2	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村	9:30～ 11:00     14:00～ 15:00	ぬり絵 (2月カレンダー) 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉富士の山・お正月 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ

月	参加者総数	指 導 者	時 間	内 容
		小林 市村 亀倉 上野 日下田		物送り 神経衰弱 その他
2	690	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00  14:00～ 15:00	ぬり絵 (3月カレンダー) 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉二人は若い 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他
3	683	看護師 佐竹 加藤 遠藤 介護員 野沢 市村ク 牛嶋 高山 加藤 高津戸 木村 小林 市村 亀倉 上野 日下田	9:30～ 11:00  14:00～ 15:00	ぬり絵 (4月カレンダー) 身体リハビリ体操 健口体操 リズム体操 〈年間〉うめ干しの歌 〈月間〉さくらさくら 〈レクリエーション〉 輪投げ お手玉入れ 物送り 神経衰弱 その他



## 8. 居宅介護支援事業

- (1) 介護保険法の理念に基づき、可能な限り住み慣れた環境で生活ができるよう、ご利用者様の自立支援、状態の悪化の防止を促進するために計画的、総合的に支援を行いました。
- (2) 利用者様やご家族様の選択に基づき、心身の状況や生活環境に応じて適切な保健医療サービス及び福祉サービス・施設サービスなどの多様な事業所との連携を図り「居宅介護サービス計画書」を作成し、総合的かつ効果的にサービス提供が行われるよう研磨に努めました。
- (3) 地域包括支援センターからの介護支援依頼を積極的に受け、支援困難ケースに対しても、行政や様々な機関と連携し課題解決に向けて支援に取り組みました。
- (4) 利用者様が入退院するときや、医療機関から在宅へ復帰する方からの相談に真摯に答え、住み慣れた自宅での生活に戻れるよう、多職種と連携しました。
- (5) 様々な事情を抱えているご利用者に対して、冷静かつ適切な判断や行動がとれるよう施設内外研修へ積極的に参加し、援助技術の向上を図ると共に、各種制度や地域のインフォーマルサービスの熟知に努めました。また、定例の施設内カンファレンスを行い実践に活かしました。

月別利用者実績数

単位：名

介護度 月	要1	要2	要3	要4	要5	計
H31年4月	36	38	19	14	11	118
R1年5月	37	37	21	15	11	121
6月	36	39	24	15	11	125
7月	33	44	24	18	8	127
8月	34	46	23	15	8	126
9月	36	47	26	15	8	132
10月	35	50	25	16	8	134
11月	36	50	25	15	8	134
12月	36	50	28	16	7	137
R2年1月	40	45	24	16	7	132
2月	38	45	24	17	7	131
3月	38	44	24	16	7	129

居宅介護支援事業契約数

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
数	6	6	4	8	9	8	6	4	4	7	1	3	66

1. 法人基本情報

(1)都道府県区分	(2)市町村区分	(3)所轄庁区分	(4)法人番号	(5)法人区分	(6)活動状況
09 栃木県	209 真岡市	09209	4060005003237	05 その他	01 運営中
(7)法人の名称	社会福祉法人 山坂福祉会				
(8)主たる事務所の住所	栃木県	真岡市	熊倉町3435-1		
(9)主たる事務所の電話番号	0285-81-1188	(10)主たる事務所のFAX番号	0285-81-1187		
(12)従たる事務所の住所					
(13)法人のホームページURL	http://www.yamasawanosato.or.jp/		(14)法人のメールアドレス	info@yamasawanosato.or.jp	
(15)法人の設立認可年月日	平成14年5月1日		(16)法人の設立登記年月日	平成13年6月25日	
(11)従たる事務所の有無	2 無				

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員	7-8	(2)評議員の現員	8	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	0
(3-1)評議員の氏名	(3-2)評議員の職業	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
蝶良 仁一	歯科技士	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	0
青山 一三	(株)コマツ役員	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	0
木村 孝憲	無職	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	0
北條 武	無職	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
若林 和子	無職	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
青木 トウ	無職	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
木村 義弘	お仏壇のきむら代表取締役	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
仁平 昭	無職	H29.4.1 ~ H33年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1

3. 当該会計年度の初日における理事の状況

(1)理事の定員	6	(2)理事の現員	6	(3-12)理事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	20,577,422	2 特例無
(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職(注)	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況
	(3-8)理事の任期		(3-9)理事要件の区分別該当状況		(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11)理事報酬等の支給形態
野原 哲夫	1 理事長	平成15年6月28日	2 非常勤	平成29年6月16日	野原税理士事務所 代表	2 無
	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了		1 社会福祉事業の経営に識見を有する者		1 有	2 理事報酬のみ支給
押久保 圭子	2 業務執行理事		1 常勤	平成29年6月16日	やまさわの里 施設長	2 無
	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了		3 施設の管理者		1 有	3 職員給与のみ支給
田中 友義	3 その他理事		2 非常勤	平成29年6月16日	臨時学校職員	2 無
	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了		4 その他		2 無	2 理事報酬のみ支給
久保 文康	3 その他理事		2 非常勤	平成29年6月16日	無職	2 無
	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了		2 事業区域における福祉に関する実情に通じている者		2 無	2 理事報酬のみ支給
田中 光晴	2 業務執行理事		1 常勤	平成29年6月16日	特別養護老人ホーム やまさわの里 事務長	2 無
	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了		4 その他		2 無	3 職員給与のみ支給
尾崎 隆	2 業務執行理事		1 常勤	平成29年6月16日	特別養護老人ホーム やまさわの里 総務主任	2 無
	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了		4 その他		2 無	3 職員給与のみ支給

(注)「(3-2)理事の役職」のうち、「理事長」とは、社会福祉法45条の13第3項で規定する理事長(会長等の他の役職名を使用している法人がある。)である。  
「業務執行理事」とは、社会福祉法45条の16第2項第2号で規定する業務執行理事(常務理事等の他の役職名を使用している法人がある。)である。

4. 当該会計年度の初日における監事の状況

(1)監事の定員	2	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	10,000	
(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業	(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況	(3-3)監事選任の評議員会議決年月日	(3-4)監事の任期	(3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-7)前会計年度における理事会への出席回数
原村 薫	税理士	2 無	令和1年6月14日	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了	2 社会福祉事業に識見を有する者(税理士)	3
黒田 敏晴	税理士	2 無	令和1年6月14日	R1.6.14 ~ R3年定時評議員会終了	5 財務管理に識見を有する者(税理士)	1

5. 前会計年度・当会計年度における会計監査人の状況

(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(2-2)当会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)
		2 無		0
		2 無		0

6. 当該会計年度の初日における職員の状況

(1)法人本部職員の人数					
①常勤専従者の実数	3	②常勤兼務者の実数	0	③非常勤者の実数	0
		常勤換算数	0.0	常勤換算数	0.0
(2)施設・事業所職員の人数					
①常勤専従者の実数	40	②常勤兼務者の実数	0	③非常勤者の実数	24
		常勤換算数	0.0	常勤換算数	20.8

7. 前会計年度に実施した評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数	(3)評議員会での決議事項	1/3
--------------	---------------------------------	---------------	-----

員会開催年月日	評議員				評議員
	理事	監事	会計監査人		
令和1年6月14日	5	6	1		(1) 平成30年度 決算報告 (2) 役員及び評議員の報酬に関する規定 (3) 理事および監事選任

(4)うち開催を省略した回数 0

8. 前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
令和1年5月29日	6	2	(1) 平成30年度 事業報告 (2) 平成30年度 決算報告・監査報告 (3) 評議員会開催日時及び議題
令和1年6月14日	6	1	(1) 理事長選定
令和1年12月25日	6	1	報告事項のみ
令和2年3月24日	6	0	(1) 令和2年度事業計画 (2) 令和2年度予算 (3) 育児・介護規定改定

(4)うち開催を省略した回数 0

9. 前会計年度に実施した監事監査の状況

(1) 監事監査を実施した監事の氏名	原村 薫 黒田 敏晴
(2) 監査報告により求められた改善すべき事項	特になし
(3) 監査報告により求められた改善すべき事項に対する対応	なし

10. 前会計年度に実施した会計監査(会計監査人による監査に準ずる監査を含む)の状況

(1) 会計監査人による会計監査報告における意見の区分

11. 前会計年度における事業等の概要 - (1) 社会福祉事業の実施状況

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称				②事業所の名称				
		③事業所の所在地	④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位の事業開始年月日	⑦事業所単位の定員	⑧年間(4月~3月)利用者延べ総数(人/年)	ア 建設費	イ 大規模修繕	ウ 延べ床面積	
000	特別養護老人ホーム やまさわの里	01030202	特別養護老人ホーム(介護福祉サービス)				特別養護老人ホーム やまさわの里				
		栃木県 真岡市 熊倉町 3 4 3 5 - 1	3 自己所有	3 自己所有	平成14年5月1日	50	604	ア 建設費	イ 大規模修繕	ウ 延べ床面積	
000	特別養護老人ホーム やまさわの里	02120201	老人デイサービス事業(通所介護)				やまさわの里デイサービスセンター				
		栃木県 真岡市 熊倉町 3 4 3 5 - 1	3 自己所有	3 自己所有	平成14年5月1日	35	8,838	ア 建設費	イ 大規模修繕	ウ 延べ床面積	
000	特別養護老人ホーム やまさわの里	02120401	老人短期入所事業(短期入所生活介護)				やまさわの里ショートステイ				
		栃木県 真岡市 熊倉町 3 4 3 5 - 1	3 自己所有	3 自己所有	平成14年5月1日	10	3,173	ア 建設費	イ 大規模修繕	ウ 延べ床面積	
000	特別養護老人ホーム やまさわの里	06260301	(公益) 居宅介護支援事業				やまさわの里居宅介護支援事業所				
		栃木県 真岡市 熊倉町 3 4 3 5 - 1	3 自己所有	3 自己所有	平成14年5月1日	0	1,229	ア 建設費	イ 大規模修繕	ウ 延べ床面積	

11. 前会計年度における事業等の概要 - (2) 公益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称				②事業所の名称				
		③事業所の所在地	④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位の事業開始年月日	⑦事業所単位の定員	⑧年間(4月~3月)利用者延べ総数(人/年)	ア 建設費	イ 大規模修繕	ウ 延べ床面積	
		ア	建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ	延べ床面積	
		イ	大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ)	修繕費合計額(円)	

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (3)収益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称		②事業所の名称				
		③事業所の所在地			④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月~3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)							
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積	
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)	

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

11-2. 地域における公益的な取組(地域公益事業(再掲)含む)

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
地域における公益的な取組①(地域の要支援者に対する相談支援)	いちごハートねっと事業	法人住所と同じ(栃木県真岡市熊倉町3435-1)
	おこまり福祉相談 地域住民のこまごとの相談に応じます	
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	地域連携防災協定	法人住所と同じ(栃木県真岡市熊倉町3435-1)
	地域の関係者とのネットワーク構築を図りながら、災害時に備えた地域のコミュニティづくりの取組を実施	
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	294たがやしNET	法人住所と同じ(栃木県真岡市熊倉町3435-1)
	地域の社会福祉法人および社協のネットワークによる防災や買い物支援など	

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況 (社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません)

(1) 社会福祉充実残額等の総額(円)	0
(2) 社会福祉充実計画における計画額(計画期間中の総額)	
①社会福祉事業又は公益事業(社会福祉事業に類する小規模事業)(円)	0
②地域公益事業(円)	0
③公益事業(円)	0
④合計額(①+②+③)(円)	0
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
①社会福祉事業又は公益事業(社会福祉事業に類する小規模事業)(円)	0
②地域公益事業(円)	0
③公益事業(円)	0
④合計額(①+②+③)(円)	0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間	~

1 3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1)積極的な情報公表への取組

①任意事項の公表の有無

㊦事業報告	2 無
㊧財産目録	2 無
㊨事業計画書	2 無
㊩第三者評価結果	3 該当なし
㊪苦情処理結果	2 無
㊫監事監査結果	2 無
㊬附属明細書	2 無

(2)前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況

①事業運営に係る公費(円)	287,144,276
②施設・設備に係る公費(円)	0
③国庫補助金等特別積立金取崩累計額(円)	301,857,715

(3)福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について

施設名	直近の受審年度

1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1)会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況

①実施者の区分	
②実施者の氏名(法人の場合は法人名)	
③業務内容	
④費用[年額](円)	

(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況

①所轄庁から求められた改善事項	
②実施した改善内容	

1 5. その他

退職手当制度の加入状況等(複数回答可)

①社会福祉施設職員等退職手当共済制度((独)福祉医療機構)に加入	2 無
②中小企業退職金共済制度((独)勤労者退職金共済機構)に加入	2 無
③特定退職金共済制度(商工会議所)に加入	2 無
④都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	1 有
⑤その他の退職手当制度に加入(具体的に: ●●●)	
⑥法人独自で退職手当制度を整備	2 無
⑦退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	2 無

特別養護老人ホーム やまさわの里 貸借対照表  
令和2年3月31日現在

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	336,679,149	345,100,223	-8,421,074	流動負債	37,962,555	40,339,421	-2,376,866
現金預金	86,151,587	100,054,290	-13,902,703	事業未払金	12,452,520	14,223,446	-1,770,926
有価証券	191,995,349	191,448,500	546,849	その他の未払金	12,553,558	11,814,390	739,168
事業未収金	58,532,213	53,597,433	4,934,780	1年以内返済予定設備資金借入金	9,250,000	9,250,000	0
未収金			0	1年以内支払予定長期未払金	656,040		656,040
未収補助金			0	預り金	31,950	37,478	-5,528
				職員預り金	3,018,487	5,014,107	-1,995,620
固定資産	523,614,544	534,023,533	-10,408,989	固定負債	37,123,804	41,007,366	-3,883,562
基本財産	452,144,102	461,727,433	-9,583,331	設備資金借入金	9,250,000	18,500,000	-9,250,000
土地	215,100,000	215,100,000	0	退職給付引当金	25,468,324	22,507,366	2,960,958
建物	237,044,102	246,627,433	-9,583,331	長期未払金	2,405,480		2,405,480
その他の固定資産	71,470,442	72,296,100	-825,658	負債の部合計	75,086,359	81,346,787	-6,260,428
建物	29,987,230	34,531,825	-4,544,595	純資産の部			
構築物	1,136,046	1,432,606	-296,560	基本金	288,190,183	288,190,183	0
機械及び装置			0	国庫補助金等特別積立金	168,993,882	176,514,374	-7,520,492
車輜運搬具	1,970,443	4,476,350	-2,505,907	次期繰越活動増減差額	328,023,269	333,072,412	-5,049,143
器具及び備品	12,814,119	9,253,673	3,560,446	(うち当期活動増減差額)	-5,049,143	10,018,983	-15,068,126
建設仮勘定			0				
退職給付引当資産	25,468,324	22,507,366	2,960,958	純資産の部合計	785,207,334	797,776,969	-12,569,635
その他の固定資産	94,280	94,280	0	負債及び純資産の部合計	860,293,693	879,123,756	-18,830,063
資産の部合計	860,293,693	879,123,756	-18,830,063				

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）  
 特別養護老人ホーム やまさわの里 事業活動計算書  
 （自）平成31年4月1日 （至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	介護保険事業収益	350,086,343	341,036,880	9,049,463
	施設介護料収益	184,826,643	185,078,598	-251,955
	介護報酬収益	165,507,002	166,716,573	-1,209,571
	利用者負担金収益（一般）	19,319,641	18,362,025	957,616
	居宅介護料収益	113,379,711	107,906,687	5,473,024
	介護報酬収益	99,272,747	95,392,300	3,880,447
	介護予防報酬収益	938,118	434,770	503,348
	介護負担金収益（一般）	13,064,000	12,033,123	1,030,877
	介護予防負担金収益（一般）	104,846	46,494	58,352
	居宅介護支援介護料収益	19,039,929	16,356,785	2,683,144
	居宅介護支援介護料収益	19,039,929	16,356,785	2,683,144
	利用者等利用料収益	32,740,060	31,594,810	1,145,250
	食費収益（公費）	84,180	27,300	56,880
	食費収益（一般）	21,508,658	19,923,020	1,585,638
	居住費収益（公費）		960	-960
	居住費収益（一般）	11,147,222	11,643,530	-496,308
	その他の事業収益	100,000	100,000	0
	補助金事業収益（一般）	100,000	100,000	0
	(何) 事業収益	2,302,300	577,600	1,724,700
	その他の事業収益	2,302,300	577,600	1,724,700
補助金事業収益（公費）	2,302,300	577,600	1,724,700	
サービス活動収益計（1）	352,388,643	341,614,480	10,774,163	
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	人件費	262,347,652	242,513,001	19,834,651
	役員報酬	2,050,000		2,050,000
	職員給料	146,657,907	129,929,224	16,728,683
	職員賞与	30,264,190	30,654,390	-390,200
	賞与引当金繰入			0
	非常勤職員給与	48,062,297	48,365,432	-303,135
	派遣職員費		390,911	-390,911
	退職給付費用	3,048,364	2,663,998	384,366
	法定福利費	32,264,894	30,509,046	1,755,848
	事業費	42,883,463	41,864,587	1,018,876
	給食費	18,589,398	18,053,956	535,442
	介護用品費	3,853,320	3,547,084	306,236
	医薬品費			0
	保健衛生費	346,752	557,486	-210,734
	医療費		3,610	-3,610
	被服費	2,115,452	2,026,697	88,755
	教養娯楽費	534,534	656,670	-122,136
	日用品費		47,234	-47,234
	水道光熱費	10,200,461	10,384,443	-183,982
	燃料費	76,142	7,128	69,014
	消耗器具備品費	4,637,731	3,683,924	953,807
	保険料			0
	賃借料			0
	車輛費	2,490,035	2,862,095	-372,060
	雑費	39,638	34,260	5,378
	事務費	45,469,014	48,177,662	-2,708,648
	福利厚生費	1,183,370	1,091,046	92,324
	職員被服費	238,066	235,292	2,774
	旅費交通費	60,500	66,080	-5,580
	研修研究費	928,862	1,081,640	-152,778
事務消耗品費	1,141,526	531,725	609,801	
印刷製本費	505,887	454,955	50,932	
修繕費	3,394,448	5,232,004	-1,837,556	
通信運搬費	866,534	809,809	56,725	
会議費	144,646	139,173	5,473	
広報費	55,000	32,400	22,600	
業務委託費	29,317,202	30,190,837	-873,635	

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）  
 特別養護老人ホーム やまさわの里 事業活動計算書  
 （自）平成31年4月1日 （至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	手数料	1,175,539	1,639,813	-464,274
	保険料	1,116,430	1,183,940	-67,510
	賃借料	2,110,891	1,973,874	137,017
	土地・建物賃借料	625,000	625,000	0
	租税公課	46,000	239,395	-193,395
	保守料	1,919,474	1,949,940	-30,466
	渉外費	25,000	5,000	20,000
	諸会費	518,693	499,530	19,163
	新聞図書費		17,789	-17,789
	雑費	95,946	178,420	-82,474
	減価償却費	20,354,121	20,308,815	45,306
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,520,466	-14,524,119	7,003,653
	サービス活動費用計（2）	363,533,784	338,339,946	25,193,838
	サービス活動増減差額（3）=（1）-（2）	-11,145,141	3,274,534	-14,419,675
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	3,599,286	2,857,654	741,632
	有価証券売却益		649,800	-649,800
	その他のサービス活動外収益	2,942,712	3,829,000	-886,288
	受入研修費収益	305,500	15,000	290,500
	利用者等外給食収益	2,632,212	2,384,000	248,212
	雑収益	5,000	1,430,000	-1,425,000
	サービス活動外収益計（4）	6,541,998	7,336,454	-794,456
費用				
支払利息	444,000	592,000	-148,000	
サービス活動外費用計（5）	444,000	592,000	-148,000	
	サービス活動外増減差額（6）=（4）-（5）	6,097,998	6,744,454	-646,456
	経常増減差額（7）=（3）+（6）	-5,047,143	10,018,988	-15,066,131
特別増減の部	収益			
	特別収益計（8）	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	26	1,237	-1,211
	車輻運搬具売却損・処分損		2	-2
	器具及び備品売却損・処分損	26	1,235	-1,209
国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	-26	-1,232	1,206	
その他の特別損失	2,000		2,000	
	特別費用計（9）	2,000	5	1,995
	特別増減差額（10）=（8）-（9）	-2,000	-5	-1,995
	当期活動増減差額（11）=（7）+（10）	-5,049,143	10,018,983	-15,068,126
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（12）	333,072,412	323,053,429	10,018,983
	当期末繰越活動増減差額（13）=（11）+（12）	328,023,269	333,072,412	-5,049,143
	基本金取崩額（14）			0
	その他の積立金取崩額（15）			0
	その他の積立金積立額（16）			0
	次期繰越活動増減差額（17）=（13）+（14）+（15）-（16）	328,023,269	333,072,412	-5,049,143

第一号第四様式（第十七条第四項関係）

特別養護老人ホーム やまさわの里 資金収支計算書  
 （自）平成31年4月1日 （至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	348,926,084	350,086,343	-1,160,259	
	施設介護料収入	188,200,000	184,826,643	3,373,357	
	介護報酬収入	169,000,000	165,507,002	3,492,998	
	利用者負担金収入（一般）	19,200,000	19,319,641	-119,641	
	居宅介護料収入	112,736,084	113,379,711	-643,627	
	介護報酬収入	99,136,084	99,272,747	-136,663	
	介護予防報酬収入	500,000	938,118	-438,118	
	介護負担金収入（一般）	13,000,000	13,064,000	-64,000	
	介護予防負担金収入（一般）	100,000	104,846	-4,846	
	居宅介護支援介護料収入	15,840,000	19,039,929	-3,199,929	
	居宅介護支援介護料収入	15,840,000	19,039,929	-3,199,929	
	介護予防支援介護料収入			0	
	利用者等利用料収入	32,050,000	32,740,060	-690,060	
	食費収入（公費）	50,000	84,180	-34,180	
	食費収入（一般）	21,000,000	21,508,658	-508,658	
	居住費収入（公費）			0	
	居住費収入（一般）	11,000,000	11,147,222	-147,222	
	その他の事業収入	100,000	100,000	0	
	補助金事業収入（一般）	100,000	100,000	0	
	（何）事業収入	5,115,000	2,302,300	2,812,700	
	その他の事業収入	5,115,000	2,302,300	2,812,700	
	補助金事業収入（公費）	5,115,000	2,302,300	2,812,700	
	受取利息配当金収入	2,894,000	3,599,286	-705,286	
	その他の収入	3,050,000	2,942,712	107,288	
	受入研修費収入	150,000	305,500	-155,500	
	利用者等外給食費収入	2,800,000	2,632,212	167,788	
	雑収入	100,000	5,000	95,000	
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0		
有価証券売却益			0		
事業活動収入計（1）	359,985,084	358,930,641	1,054,443		
事業活動による収支	人件費支出	240,796,558	259,299,288	-18,502,730	
	役員報酬支出	1,580,000	2,050,000	-470,000	
	職員給料支出	133,429,687	146,657,907	-13,228,220	
	職員賞与支出	30,085,000	30,264,190	-179,190	
	非常勤職員給与支出	46,285,608	48,062,297	-1,776,689	
	派遣職員費支出			0	
	退職給付支出			0	
	法定福利費支出	29,416,263	32,264,894	-2,848,631	
	事業費支出	38,781,584	42,883,463	-4,101,879	
	給食費支出	17,861,584	18,589,398	-727,814	
	介護用品費支出	3,300,000	3,853,320	-553,320	
	医薬品費支出			0	
	保健衛生費支出	370,000	346,752	23,248	
	医療費支出			0	
	被服費支出	2,100,000	2,115,452	-15,452	
	教養娯楽費支出	450,000	534,534	-84,534	
	日用品費支出			0	
	水道光熱費支出	8,800,000	10,200,461	-1,400,461	
	燃料費支出		76,142	-76,142	
	消耗器具備品費支出	3,500,000	4,637,731	-1,137,731	
	車輦費支出	2,350,000	2,490,035	-140,035	
	雑支出	50,000	39,638	10,362	
	事務費支出	45,869,330	45,469,014	400,316	
	福利厚生費支出	1,250,000	1,183,370	66,630	
	職員被服費支出	250,000	238,066	11,934	
	旅費交通費支出	150,000	60,500	89,500	
	研修研究費支出	910,000	928,862	-18,862	
	事務消耗品費支出	1,002,000	1,141,526	-139,526	
	印刷製本費支出	600,000	505,887	94,113	
	修繕費支出	1,600,000	3,394,448	-1,794,448	
	通信運搬費支出	800,000	866,534	-66,534	
	会議費支出	176,000	144,646	31,354	
広報費支出		55,000	-55,000		
業務委託費支出	30,508,800	29,317,202	1,191,598		
手数料支出	800,000	1,175,539	-375,539		
保険料支出	1,300,000	1,116,430	183,570		



第一号第四様式（第十七条第四項関係）

特別養護老人ホーム やまさわの里 資金収支計算書  
（白）平成31年4月1日（至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	賃借料支出	2,450,000	2,110,891	339,109	
	土地・建物賃借料支出	625,000	625,000	0	
	租税公課支出	150,000	46,000	104,000	
	保守料支出	2,750,000	1,919,474	830,526	
	渉外費支出	10,000	25,000	-15,000	
	諸会費支出	487,530	518,693	-31,163	
	新聞図書費支出			0	
	雑支出	50,000	95,946	-45,946	
	支払利息支出	444,000	444,000	0	
	事業活動支出計（2）	325,891,472	348,095,765	-22,204,293	
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	34,093,612	10,834,876	23,258,736		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計（4）	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還支出	9,250,000	9,250,000	0	
	長期未払金支出		218,680	-218,680	
	固定資産取得支出	3,564,000	3,704,000	-140,000	
	車輜運搬具取得支出			0	
	器具及び備品取得支出	3,564,000	3,704,000	-140,000	
固定資産除却・廃棄支出			0		
施設整備等支出計（5）	12,814,000	13,172,680	-358,680		
施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）	-12,814,000	-13,172,680	358,680		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	0	0	0	
	退職給付引当資産取崩収入			0	
	その他の活動収入計（7）	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	2,800,000	3,048,364	-248,364	
	退職給付引当資産支出	2,800,000	3,048,364	-248,364	
その他の活動による支出		2,000	-2,000		
その他の活動支出計（8）	2,800,000	3,050,364	-250,364		
その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）	-2,800,000	-3,050,364	250,364		
予備費支出（10）	1,000,000		1,000,000		
当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10）	17,479,612	-5,388,168	22,867,780		
前期末支払資金残高（12）	314,010,802	314,010,802	0		
当期末支払資金残高（11）+（12）	331,490,414	308,622,634	22,867,780		

法人単位貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	336,679,149	345,100,223	-8,421,074	流動負債	37,962,555	40,339,421	-2,376,866
現金預金	86,151,587	100,054,290	-13,902,703	事業未払金	12,452,520	14,223,446	-1,770,926
有価証券	191,995,349	191,448,500	546,849	その他の未払金	12,553,558	11,814,390	739,168
事業未収金	58,532,213	53,597,433	4,934,780	1年以内返済予定設備資金借入金	9,250,000	9,250,000	0
未収金			0	1年以内支払予定長期未払金	656,040		656,040
未収補助金			0	預り金	31,950	37,478	-5,528
				職員預り金	3,018,487	5,014,107	-1,995,620
固定資産	523,614,544	534,023,533	-10,408,989	固定負債	37,123,804	41,007,366	-3,883,562
基本財産	452,144,102	461,727,433	-9,583,331	設備資金借入金	9,250,000	18,500,000	-9,250,000
土地	215,100,000	215,100,000	0	退職給付引当金	25,468,324	22,507,366	2,960,958
建物	237,044,102	246,627,433	-9,583,331	長期未払金	2,405,480		2,405,480
その他の固定資産	71,470,442	72,296,100	-825,658	負債の部合計	75,086,359	81,346,787	-6,260,428
建物	29,987,230	34,531,825	-4,544,595				
構築物	1,136,046	1,432,606	-296,560	純資産の部			
機械及び装置			0	基本金	288,190,183	288,190,183	0
車輛運搬具	1,970,443	4,476,350	-2,505,907	国庫補助金等特別積立金	168,993,882	176,514,374	-7,520,492
器具及び備品	12,814,119	9,253,673	3,560,446	次期繰越活動増減差額	328,023,269	333,072,412	-5,049,143
建設仮勘定			0	(うち当期活動増減差額)	-5,049,143	10,018,983	-15,068,126
退職給付引当資産	25,468,324	22,507,366	2,960,958				
その他の固定資産	94,280	94,280	0	純資産の部合計	785,207,334	797,776,969	-12,569,635
資産の部合計	860,293,693	879,123,756	-18,830,063	負債及び純資産の部合計	860,293,693	879,123,756	-18,830,063

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）  
法人単位事業活動計算書

（自）平成31年4月1日 （至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	350,086,343	341,036,880	9,049,463
	(何)事業収益	2,302,300	577,600	1,724,700
	サービス活動収益計(1)	352,388,643	341,614,480	10,774,163
	費用			
	人件費	262,347,652	242,513,001	19,834,651
	事業費	42,883,463	41,864,587	1,018,876
	事務費	45,469,014	48,177,662	-2,708,648
	減価償却費	20,354,121	20,308,815	45,306
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,520,466	-14,524,119	7,003,653
サービス活動費用計(2)	363,533,784	338,339,946	25,193,838	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	-11,145,141	3,274,534	-14,419,675	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	3,599,286	2,857,654	741,632
	有価証券売却益	0	649,800	-649,800
	その他のサービス活動外収益	2,942,712	3,829,000	-886,288
	サービス活動外収益計(4)	6,541,998	7,336,454	-794,456
	費用			
	支払利息	444,000	592,000	-148,000
サービス活動外費用計(5)	444,000	592,000	-148,000	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	6,097,998	6,744,454	-646,456	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	-5,047,143	10,018,988	-15,066,131	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	26	1,237	-1,211
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	-26	-1,232	1,206
その他の特別損失	2,000	-1,232	3,232	
特別費用計(9)	2,000	-1,227	3,227	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	-2,000	1,227	-3,227	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	-5,049,143	10,020,215	-15,069,358	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)	333,072,412	323,053,429	10,018,983
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	328,023,269	333,073,644	-5,050,375
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	328,023,269	333,073,644	-5,050,375

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

（自）平成31年4月1日 （至）令和2年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	348,926,084	350,086,343	-1,160,259	
	(何) 事業収入	5,115,000	2,302,300	2,812,700	
	受取利息配当金収入	2,894,000	3,599,286	-705,286	
	その他の収入	3,050,000	2,942,712	107,288	
	流動資産評価益等による資金増加額		0	0	
	事業活動収入計(1)	359,985,084	358,930,641	1,054,443	
支出	人件費支出	240,796,558	259,299,288	-18,502,730	
	事業費支出	38,781,584	42,883,463	-4,101,879	
	事務費支出	45,869,330	45,469,014	400,316	
	支払利息支出	444,000	444,000	0	
	事業活動支出計(2)	325,891,472	348,095,765	-22,204,293	
	事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	34,093,612	10,834,876	23,258,736	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	9,250,000	9,250,000	0	
	長期未払金支出		218,680	-218,680	
固定資産取得支出	3,564,000	3,704,000	-140,000		
固定資産除却・廃棄支出		0	0		
	施設整備等支出計(5)	12,814,000	13,172,680	-358,680	
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	-12,814,000	-13,172,680	358,680	
他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入		0	0	
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	2,800,000	3,048,364	-248,364	
その他の活動による支出		2,000	-2,000		
	その他の活動支出計(8)	2,800,000	3,050,364	-250,364	
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-2,800,000	-3,050,364	250,364	
	予備費支出(10)	1,000,000		1,000,000	
	当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	17,479,612	-5,388,168	22,867,780	
	前期末支払資金残高(12)	314,010,802	314,010,802	0	
	当期末支払資金残高(11) + (12)	331,490,414	308,622,634	22,867,780	

## 財 産 目 録

令和02年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						
現金	現金手元有高		運転資金として			90,639
普通預金法人本部	栃木銀行真岡支店		運転資金として			19,172,183
普通預金特別養護老人ホーム	栃木銀行真岡支店他		運転資金として			66,647,421
普通預金デパートセンター	栃木銀行真岡支店		運転資金として			241,344
			小計			86,151,587
未収金						
事業未収金	介護福祉施設介護料未収金		2.3月分介護報酬			28,450,584
事業未収金	居宅介護料未収金		2.3月分介護報酬			16,046,603
事業未収金	居宅介護支援介護料未収金		2.3月分介護報酬			3,213,445
事業未収金	介護予防介護料未収金		2.3月分介護報酬			138,276
事業未収金	利用者負担金未収金		2.3月分介護報酬			10,683,305
			小計			58,532,213
有価証券						
有価証券	日興証券・大和証券		特段の指定はない			191,995,349
			小計			191,995,349
棚卸資産						0
			小計			0
他流動資産						0
			小計			0
	流動資産合計					336,679,149
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
【基本】土地	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用			215,100,000
【基本】建物	栃木県真岡市熊倉町3435-1	2002年度	第1種社会福祉事業に使用	409,544,060	172,499,958	237,044,102
	基本財産合計					452,144,102
<b>(2) その他の固定資産</b>						
建物	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用	4,500,000	2,104,987	2,395,013
建物	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用	250,457,901	222,865,684	27,592,217
構築物	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用	36,888,039	35,751,993	1,136,046
車両運搬具	ハイエース他9台		利用者送迎用	19,653,310	17,682,867	1,970,443
器具及び備品	介護用ベッド他		第1種社会福祉事業に使用	40,410,677	27,596,558	12,814,119
退職給付引当資産			職員の退職金積立			25,468,324
その他の固定資産			社用車リサイクル預託金			94,280
	その他固定資産合計					71,470,442
	固定資産合計					523,614,544
	資産合計					860,293,693
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金						12,452,520
1年以内返済設備借入金						9,250,000
1年以内支払長期未払金			バマウントベッド10台割賦			656,040
預り金	振替手数料					31,950
職員預り金	源泉所得税					367,190
職員預り金	住民税					488,100
職員預り金	社会保険料					2,041,463
職員預り金	雇用保険料					121,734
未払金	職員給料未払金					12,521,558
未払金	親睦会費					32,000
	流動負債合計					37,962,555
<b>2 固定負債</b>						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構		設立時設備資金に使用			9,250,000
退職給付引当金	栃木県民間社会福祉施設職員退職共済財団		職員の退職金の引当金			25,468,324
長期未払金	株式会社		バマウントベッド10台割賦			2,405,480
	固定負債合計					37,123,804
	負債合計					75,086,359
	差引純資産					785,207,334

# 令和2年度

自 令和2年4月 1日  
至 令和3年3月31日

## 事業計画書

社会福祉法人 山坂福社会

特別養護老人ホーム	やまさわの里
短期入所生活介護（ショートステイ）	やまさわの里
通所介護（デイサービス）	やまさわの里
居宅介護支援事業	やまさわの里

# 目次

目次 .....	1
1. 経営理念 .....	1
2. 行動方針 .....	1
3. 運営方針 .....	1
4. 今年度目標 .....	1
5. 会議・委員会活動 .....	2
6. 特別養護老人ホーム事業 .....	5
7. 看護部門 .....	8
8. 栄養管理部門 .....	9
9. 短期入所介護事業 .....	10
10. 通所介護事業 .....	11
11. 居宅介護支援事業所 .....	13
12. 地域における公益的な取組 .....	13
13. 防災対策 .....	14
14. 20周年記念事業 .....	14

## 1. 経営理念

私たちは、利用者のために、利用者及び家族の「心からのありがとう」という言葉に支えられ、「心からの笑顔」で介護サービスに努める

## 2. 行動方針

### 『感謝・笑顔・挨拶』

職場人として

- ① 人生の先輩に対して敬う心を忘れないようにしましょう。
- ② 職員や利用者様から「ありがとう」の言葉をよく耳にし楽しく働きましょう。
- ③ 笑顔を忘れず、やさしい言葉づかいで相手の立場になって接しましょう。
- ④ 仕事をする上で、人として成長していることを実感しましょう。
- ⑤ 「ありがとう」と思う心を習慣づけることで穏やかな自分に変わらしましょう。

## 3. 運営方針

「施設利用者の生活が、温かく家庭的な雰囲気の中で過ごすことができる」

施設は、地域社会の一員であるという考え方に立ち、地域の方々との交流を深め、施設のもっている機能を地域社会へ開放する等の社会化を目指した各種事業を積極的に展開するため、次の事業を重点的に推進する。

- ① 一人ひとりの思いを大切に、笑顔あふれる安心・安全なサービス提供の為、気配り心配りに努める。
- ② 住み慣れた地域で、誰もが生き甲斐を持ち安心して暮らせるよう地域貢献に努める。
- ③ 嗜好を凝らした家庭的な食事を提供し「食べる楽しみ」を味わえるよう食生活の充実を目指す。
- ④ 個人としての尊厳を守り、公平・公正なサービスを提供し、個人情報やプライバシー等の守秘義務を徹底する。
- ⑤ 施設利用者の健康と安全を確保するため、衛生管理と防災管理を徹底するとともに、災害時の緊急支援体制の充実を図る。
- ⑥ 職員の豊かな人間性と専門的な知識・技能を高めるための研修体制を充実させると共に組織の発展につなげる。

## 4. 今年度目標

- ・「利用者様に安心して生活を楽しんでもらうため、笑顔と感謝の心を忘れない」
- ・「個別ケアに着目し、一人ひとりに寄り添う質の高い最適なケアを提供する」



## 5. 会議・委員会活動

### (1) 管理者会議

- ① 予算に対する各部門及び全体の介護報酬収入に関する進捗管理と内容確認
- ② 事業計画書及び収支予算書の確認
- ③ 介護報酬説明会や指導監査日程、行事日程、会議日程、修繕・清掃日程等確認
- ④ 異動人事案・委員会メンバーの確認
- ⑤ その他管理者会議で確認すべき事項

### (2) 戦略会議

施設全体、各部署で起こりうる問題を早期に把握し、解決へと繋げることを目的とし、各部署連携により職員が明るく働ける職場環境を作るため以下のことに着目して進める。

- ① 人材確保・定着、人材育成、教育体制を充実させ離職防止に努める。
- ② 経営の充実を図り、安定した収支を確保する。
- ③ 介護保険制度の情報を共有し、施設運営に活かす。
- ④ 介護報酬の加算取得において、算定要件等の適切な管理を行う。
- ⑤ 介護保険に関わる調査に対し日頃から確認をする。
- ⑥ 職員の処遇、業務効率化、職場環境等の改善により介護サービスの資質向上に努める。

### (3) 感染症対策委員会

#### 〔目的〕

感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者から感染症を守るため、施設における感染症、食中毒の発生、まん延防止に関する基本的な考え方を理解し委員会が中心となって職員の意識統一を図る。

#### 〔活動内容〕

- ① 感染症に対する知識を再確認するため、感染症・食中毒ミニ研修の内容を充実させる。
- ② 感染症時期（10月～3月）は発生を未然に防ぐため委員メンバーによる定期巡回を行う。
- ③ 感染症マニュアルを各部署ごとに分かりやすく簡素化させ、施設独自のものを作成する。

### (4) 事故防止・苦情解決委員会

#### 〔目的〕

介護事故を未然に防ぐためリスク管理を徹底し、分析及び改善策の検討を行い、職員への周知徹底意を図ると共に再発防止に努める。又、苦情にあたっては真摯

に受け止め、適切且つ速やかな対応に心がけ解決へと繋げる。

〔活動内容〕

- ① 重大事故を未然に防ぐためヒヤリハットの周知徹底を図る。
- ② 利用者や家族とのコミュニケーションを密に図り、信頼関係を築くことで苦情防止に努める。

#### (5) 安全衛生委員会

〔目的〕

職場の衛生管理体制を確立すると共に、働きやすい環境と職員の心身の健康保持・促進を図り、安全に働くことができる職場環境を実現するために、改善及び予防に取り組む。

〔活動内容〕

- ① 職場内の環境をチェックすることによって、安全で働きやすい環境を作る。  
(月 1 回)
- ② 交通安全に対する意識向上を図るため、DVD を活用した安全運転講習を継続する。
- ③ 腰痛予防やメンタルヘルス対策の取組みに DVD 視聴やチェックシートを活用する。
- ④ 職員の健康診断再検査者へのフォローを行う。
- ⑤ インセンティブ制度に関する 5 つの強化指標を改善する。

#### (6) 身体拘束適正化委員会

〔目的〕

施設利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、職員一人一人が身体的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識を持ち身体拘束をしないケアの実施に努める。

〔活動内容〕

- ① 不適切な行為などを職員が報告や通報しやすい体制を整える。(不適切ケア発見表の見直し)
- ② 職員アンケートを年 2 回実施することにより、各自のケアの振り返り、意識改善へと繋げる。

#### (7) 研修・広報委員会

〔目的〕

広報誌「やまさわの里通信」を作成し、施設を利用されている方々の近況報告として、施設の生活をご家族の方々に少しでも知って頂けるよう情報を発信する。また、職員のスキルアップに役立つ情報を共有し、専門職として知識・感性・技術を高めるため、毎月研修や勉強会を開催する。

〔活動内容〕

- ① 施設内研修の年間計画を立案し、研修内容の質を充実させ職員の資質向上に繋げる。
- ② 施設内研修（ミニ研修）の参加率80%以上を目指す。

(8) 給食委員会

〔目的〕

ご利用者にとって楽しみである食事を美味しく、楽しく召し上がって頂けるよう委託業者も交えて、食事内容の評価、改善事項等を検討する。また、季節ごとに月々の行事食についても計画し実施する。

〔活動内容〕

- ① 嗜好調査内容を充実させ、利用者の意見を聞きやすくし食事向上を図る。
- ② 食中毒ゼロを目標に衛生面に配慮した食事の提供を目指す。

(9) 入所検討委員会

〔目的〕

施設入所に関わる指針および基準に基づき、入所決定過程において透明性、公平性を確保すると共に厳正に判定を行い、入所が円滑に実施できるよう随時審議する。

〔活動内容〕

- ① 入所に係る協議内容を記録した議事録を作成し、2年間保存する。尚、必要な場合開示するものとする。
- ② 空床が生じた場合は、優先順位に従い速やかに入所への働きかけを行う。
- ③ 待機者の状態把握や情報収集を定期的に行う。

(10) 親睦委員会

〔目的〕

職員相互の親睦を図ると共に、職員が明るく元気に和気あいあいと仕事ができることを目的として活動する。

(11) 行事委員会

〔目的〕

行事を通し生活に潤いと充実感を提供するため、利用者と職員が一体となって楽しめる行事を企画運営する。（施設全体の行事は委員会中心となって行う）

〔活動内容〕

- ① 各行事でのボランティアの参加を積極的に促し、連携した行事運営を行う。
- ② 11月～3月までの感染症時期は、特養とデイサービスで全体行事を別々の内容で行うため、担当委員の構成について考慮する。

## 全体行事計画

4月	お花見ツアー	5月	端午の節句 母の日
6月	父の日 運動会	7月	七夕会
9月	敬老会	10月	秋祭り
11月	音楽祭	12月	クリスマス会
1月	新年会	2月	節分祭
3月	ひな祭り		

## 6. 特別養護老人ホーム事業

### (1) 事業方針

住んでいる人と働いている人が幸せや喜びを感じる介護を行います。  
長い人生の最期を不安なく引き受けることができるチームを作ります。

### (2) 数値目標

**稼働率 98%達成**

### (3) 介護職の具体的目標

#### ① 自立支援介護・外出支援

自宅にいた頃のように、できるだけ目的を持ち、その人らしい自立した生活を可能にします。

#### ② グループケア、個別ケアの実践

利用者と職員が人として通じ合い、もうひとつの家族になれるよう細やかなケアを行います。

家族と職員が同じ方向性を持てるよう話し合いの場としてウェルカムカンファレンスを行います。

#### ③ リスクマネジメント

リスクマネジメントを高め、利用者主体の安定した生活を支えます。

#### ④ 質の高いターミナルケアの実践

穏やかな最期が迎えられる施設であること。

#### ⑤ 家族との連携・行事起案

家族とのつながりを深め、絆作りの後押しをします。

#### ⑥ 職員研修

一歩進んだ介護ができるよう、スキルアップを忘れない。

⑦ 充実した勤務体制・業務分担

働いている人も居心地よくいられるような体制と環境を作ります。

⑧ 人材育成

丁寧な指導で成長できるプログラムを実施します。

(4) 委員会

① レクリエーション委員会

日々、楽しく豊かにいられるよう QOL の追求をします。誕生日を特別な日としてお祝いをします。

② 褥瘡予防対策委員会

職種間の連携を図り、健康維持に努め、早期発見、早期ケアで悪化させない褥瘡予防を目指します。

(5) 会議

① リーダー会議

特養業務に関わる決定・検討や職員指導等の協議を行います。

② グループリーダー会議

個別ケアを中心に情報共有や勉強会等を開催し、介護の質を向上させます。

③ グループ会議

個々の利用者に視点を置き、その人らしく暮らせるよう支援を行います。  
グループ内の業務の改善・検討を行います。

(6) ケアマネージャーの具体的目標

① 個別の施設ケアマネ計画の作成、自立支援のための課題の抽出、見直し  
個別ケア計画に「暮らしの継続」や「その人らしさ」を反映します。

② 多職種との連携

利用者・家族の意向に沿った支援が行われるよう多職種と協議します。

③ 入退院支援

入院時、病院との連携を密にし、スムーズな退院支援が図れるよう進めます。

④ 入所支援

待機者の状態把握や情報収集を定期的に行い、スムーズな入所調整を行います。

(7) 生活相談員の具体的目標

① 家族との信頼関係

家族との信頼関係を築き、家族の立場に立った支援をしていきます。

② 介護人材育成

中学校や高校生などの実習生やボランティアを受け入れ、介護の良さを広め、次世代の育成に努めていきます。

特養全体行事とグループ別年間行事計画

	全体行事	まつ	そら	いちよう	さくら
4	花見&外食ツアー	お花見	イチゴ狩り or 花見	いちごパーティー	いちご狩り
5		春のお茶会	こいのぼり見学 or バラ園	こいのぼりを見に行く	鯉のぼり見学
6	春の遠足	ピザパーティー	バラ園	あじさいを見に行く	ゲームセンター+買い物ツアー
7		ミスドパーティー	かき氷 or 花火	外出（かき氷を食べ、ひまわり畑でアイス）	さくらグループ夏祭り
8		手持ち花火大会	アイス or 盆踊り観覧	かき氷・花火	もおか木綿踊り
9		アイスパーティー	外食ツアー（ラーメンなど）	調理（季節のもの）	さくらカフェ
10		ハロウィンパーティー	ハロウィンパーティーor 焼いも	ハロウィンパーティー	コスモス畑～益子の道の駅～
11		だがし屋さん	ゆず風呂 or 紙芝居 or 焼いも	出前	リンゴポート
12	忘年会	クリスマス会	忘年会 or ピザパーティー	クリスマス会	忘年会 ～歌謡ショー～
1	元旦行事	新年会	甘酒・おしるこ	新年会	新年会
2		チョコパーティー	スイーツ作り（きなこ）	バレンタイン	バレンタインパーティー～チョコフォンデュ～
3		お菓子作り	おひなさまスイーツ作り	ひな祭り・ぼたもち	お好み焼き

## 7. 看護部門

### (1) 部門方針

利用者の心身の安定を保ち、健康面と穏やかな老後を支えます。

介護職と看護職の連携を図り、お互いの専門性への理解や尊重の上で情報交換を行い、ケアをすることでの的確な看護を行います。

### (2) 数値目標

介護と医療の連携の中心となり、利用者の異常の早期発見に努め、入院者ゼロを目指します。

### (3) 看護職の具体的目標

#### ① 各グループに担当看護師を配置

情報交換しやすい状況になり、様々な問題の解決が介護職と看護職で協力できるようにします。

#### ② ターミナルケア

利用者のご家族が穏やかな最期を迎えられるように、医師と施設スタッフとの連携の中心となり最期に寄り添う看護をします。

#### ③ 医療機関との連携

医療機関との連携を図り、利用者の健康維持に努めます。

嘱託医・薬局の長期休暇時はその時期のみ臨時内服薬を施設に常備することで、利用者の体調不良時に迅速に対応できるようにします。

#### ④ 感染症予防対策

感染症対策委員会と連携し、感染症を「出さない・広げない・持ち込まない」を徹底します。

#### ⑤ 褥瘡予防対策

褥瘡予防経過表を作成し、褥瘡予防対策委員会が中心となり、軽度の皮膚トラブルを見逃さず、早期に対応することで褥瘡形成を起こさないようにします。

#### ⑥ ナース会議

医療・介護の問題点や改善点等の話し合いや情報の共有を図ることでより良い看護を目指します。

#### ⑦ 夜間急変対応マニュアル

看護師不在の夜間も利用者の急変に早期に対応できるようにします。

#### ⑧ 個別機能訓練

OTの指示のもと、個別機能訓練を実施し、身体機能、生活機能の維持・向上に努

めます。

(4) 機能訓練指導員（OT：作業療法士）の具体的目標

- ① 利用者それぞれの心身機能に合わせた機能訓練を行い、ADL の維持向上に努めます。
- ② 介護・看護等多職種間と連携し利用者が快適に生活できる環境作りを行います。

8. 栄養管理部門

(1) 部門方針

介護予防の観点から、低栄養状態の予防・改善を徹底する為に栄養ケアマネジメントを実施します。栄養スクリーング、栄養アセスメント、栄養ケア計画・実施・評価を定期的に行い、個人に合わせた食事を提供します。

大量調理施設衛生管理マニュアルを基に衛生管理を行い、安心・安全な食事提供の出来る環境を保つことは勿論のこと、厨房より食中毒及び感染症を発生させないように、自己の健康管理に細心の注意を払います。また、外部及び委託業者による立入検査を行うことにより、更なる衛生管理の徹底に努めます。

(2) 具体的目標

① 行事食・選択食の提供

食生活に変化をもたせ、季節の素材を生かした行事食となるように工夫します。年間行事計画にそって、各行事にふさわしい食事作りをします。

行事食

4月	お花見御膳	5月	竹の子ご飯・天ぷら等 母の日特別献立
6月	父の日特別献立 赤飯・鶏のから揚げ等	7月	ちらし寿司等 スタミナ献立（土用の丑の日）
8月	夏バテ予防献立	9月	赤飯・天ぷら等 ケーキ(おやつ)
10月	模擬店出店	11月	さつまいも・けんちん汁
12月	にぎり寿司・ケーキ 年越しそば等	1月	おせち料理 ちらし寿司
2月	赤飯・しもつかれ	3月	お刺身献立 まんじゅう（おやつ）



誕生会 月に一回  
選択食 月に一回

② 嗜好調査

面接調査により、嗜好調査を行い食べたいものを把握し、メニューに反映します。

9. 短期入所介護事業

(1) 事業方針

一人ひとりの利用者様が住み慣れた自宅で、自立した日常生活を送れるよう、心身の状態を把握し、入浴、排せつ、食事等の介護、その他全般にわたる援助を行います。また、在宅で介護にあたるご家族様の身体的、精神的な負担を少しでも軽くできるよう、様々なニーズにお応えし、ご本人、ご家族が安心できるケアを提供します。

(2) 数値目標

一日平均利用者数 9.0名達成

(3) 具体的目標

- ① 稼働率の向上が図れるように、地域の居宅介護支援事業所に空床情報を提供すると共に、緊急利用についても柔軟に対応して地域の要望に応じて行きます。
- ② 特養の行事計画と連動して、心身の状況を勘案し、その心身の状態に合ったレクリエーション及び生活の中でのリハビリを行い、利用者がもっている心身の状態を可能な限り低下させないよう努めます。
- ③ 健康管理については、看護職員等により個々の状態観察に努め、健康状況に注意するとともに、必要に応じて関係医療機関との連携を図り、入所期間中でも医療面において安心して生活ができるよう配慮します。特に、中・重度者、難病や末期の要介護者等に対するケアの充実を図ります。
- ④ ご家族の事情を考慮し、長期利用などの要望に柔軟に応じて行きます。
- ⑤ 各居宅介護支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携により、開始前から終了後に至るまで利用者が継続的に福祉サービスを利用できるよう必要な援助に努め、利用者の満足するような支援を行います。
- ⑥ 入退去時の手荷物の点検をしっかりと行い、紛失及び忘れ物の防止に努めます。

## 10. 通所介護事業

### (1) 事業方針

利用者一人ひとりのニーズに合わせた目標を設定し、その実現に向けて心身の維持・回復・向上を図り、日常生活上の自立を援助するために、機能訓練や入浴・排泄・食事等の介護、その他日常生活上のサービスを提供します。また、地域との結びつきにも重視し、関係市町村保険者、居宅介護支援事業所、他の居宅サービス事業所、その他保険・医療・福祉サービスを提供するものとの密接な連携を図り、総合的なサービス提供に努めます。

### (2) 数値目標

一人ひとりの意思を尊重し、安心・安全に生活が送れるよう、心のこもった介護と看護を提供します。

一日平均利用者数 30名

### (3) 具体的目標

#### ① 利用者の処遇向上

通所介護サービス計画に基づいて目標を設定するとともに、体調観察・運動・入浴・排泄・交流等の身体機能の維持や向上に取り組みます。

自立支援への取組では、安全性の配慮だけでなく定期的に話し合いの場を設け、目的を明確にすることに努めます。サービス内容を充実する為に、利用者の自己決定にも繋げる個別ケアを実施します。

#### ② リスクマネジメント

ヒヤリハットの様式を見直し、対応策・起こりうる事故を予見し、安全の確保に心掛けます。

感染症時期の対応を徹底することにより、二次感染の予防に努めます。

送迎サービスによる、安心・安全な運転を心掛けます。

#### ③ 職員の技術・知識の向上

細かいサービスやケア方法の質を向上し、思い込みがないように適宜情報を共有しながら質の高い対応の統一に努めます。認知症の方には、専門的な知識を活かしたサービスを提供します。

外部研修の内容を施設内で実施することで、興味や関心を持ってもらい、職員全体での意識が高まるように努めます。

#### ④ 地域交流と貢献

季節行事への参加、ボランティア活動の依頼により、お互いが楽しめる場を提

供します。

外出支援の年間計画を立てることにより、スムーズに外出することができ、利用者の期待感や楽しみが増え、地域の方と触れ合う機会を提供します。

⑤ 稼働率の維持・向上

利用者のニーズに応えるため、年末年始の稼働を継続します。

1月から3月は寒いという理由と感染予防から、稼働率の低下が予想される為、年間を通した稼働を常に意識します。

⑥ 利用者・家族への通知書

行事の案内・食事の嗜好調査・サービス内容のアンケート・感染症予防の内容等を通知します。

(4) 委員会（毎月1回不定期開催）

① レクリエーション委員会

その月のレクリエーションについて反省し、次月のプログラムを考えます。

② 排泄委員会

自立支援に向け、利用者個々の排泄ケアの検討と見直しを行います。

③ 配車委員会

利用者個々の希望時間を配慮した能率よい送迎方法を検討します。

(5) 会議

① 朝のミーティング

利用者の状態把握と注意事項・送迎の確認等

② 夕のミーティング

利用者の状態報告・業務に関する報告等（新規契約・担当者会議等）

③ ケースカンファレンス

利用者の個別処遇の検討（随時）

④ スタッフ会議

日課及び処遇全般についての検討・見直し等

デイサービス全体行事

4月	5月	6月	7月
お花見ツアー	自由喫茶	自由喫茶	選べる外食ツアー 自由喫茶
8月	9月	10月	11月
自由喫茶	選べる買い物ツアー 自由喫茶	自由喫茶	りんご狩りツアー 自由喫茶
12月	1月	2月	3月
クリスマス会	初詣ツアー	自由喫茶	自由喫茶

## 11. 居宅介護支援事業所

### (1) 事業方針

在宅で生活されている方、またそのご家族の相談等に応じて必要な援助を行い、出来る限り在宅で、自立した生活を送れるように支援します。

利用者様の今まで培ってきた生活習慣を大切にし、その人らしい暮らしを支えます。

### (2) 数値目標

居宅介護支援実績 月 132件 年間 1,584件

### (3) 具体的目標

- ① 本人の望む暮らしを共に考え、本人やご家族に助言や、在宅介護サービス、社会資源の利用などを提案します。
- ② 地域包括支援センターからの支援依頼について、可能な限り断ることなく、支援を引き継ぎ、利用者様の安心した生活を支援します。(担当可能件数超えや、特段の事情がある場合以外での受託率90%)
- ③ 利用者様の入退院時に、共通連携シートを活用し、入退院時に在宅での情報提供、退院時にカンファレンスの参加等、関係者と連携を図り、スムーズな入退院を支援します。(入退院時連携加算取得率80% 退院時連携加算取得率60%)
- ④ 多種多様なニーズに対応できる力を身に付けるために、事業所内での事例検討会などの勉強会を開催します。(2カ月に1回開催) 外部研修へ参加します。

## 12. 地域における公益的な取組

### (1) 事業方針

地域において、様々な「生活のしづらさ(経済的困窮・病気やけが・独居高齢者等)」を抱えながらもどうしてよいか分からず、お悩みの方や必要な支援が受けられない方、孤立している方などに対し、社会福祉施設の持つノウハウや機能、ネットワークを活かして福祉に関する総合的な相談を実施し、サポートしていきます。

補足：平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、『地域における公益的な取組』実施に関する責務規定が創設されました。

## (2) 具体的内容

- ① 災害時相互援助協定を締結している熊倉四区と合同で、地域連携防災訓練を実施します。(令和2年10月予定)
- ② 栃木県の社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会に加盟し、協議会が主催する「いちごハートねっと事業」の「おこまり福祉相談」の相談窓口として活動します。
- ③ 『ズーっとすもおか真岡』（生活支援体制整備事業日常生活圏域協議体真岡地区）のメンバーとして、地域ニーズの把握に努め、協議体活動に積極的に参加します。
- ④ 294たがやしNETの加盟法人として福祉避難所の運営訓練等、非常災害時の支援体制の構築について真岡市や益子町の社会福祉法人・NPO法人等と連携し活動します。

## 13. 防災対策

- ① 防災設備点検 年2回実施（専門業者に依頼）
- ② 自主防災設備点検 年2回実施（防火管理者が実施）
- ③ 消防訓練実施計画

実施月	予定時間	訓練内容
4月	11:00	通報・消火・避難誘導訓練（夜間想定）
5月	11:00	通報・消火・避難誘導訓練（夜間想定）
6月	11:00	通報・消火・避難誘導訓練（夜間想定）
7月	11:00	総合訓練 通報・消火・避難・消火器操作（日中想定）
10月	11:00	地域連携防災訓練（地震想定）
3月	11:00	消火訓練（消火栓使用）

### ④ 普通救命講習会の開催

9月 9:00 予定人数 15名

## 14. 20周年記念事業

施設開設20周年に際し、職員および職員家族に感謝を込め、記念事業を行います。